

お施主様用 取り扱いマニュアル

このたびは弊社フローリングをご採用いただき、誠にありがとうございます。
木質床材の特性と美しさを長く保つためのご注意をよくお読みの上、正しくお使いください。

床暖房

- 床暖房とこたつ、電気カーペットを併用することはお避けください。また稼働中の床暖房面に座布団などの保温性の良いものを長時間同じ場所に置かないでください。異常過熱により、フロアの継ぎ目部に目スギが発生したり、変色やヒビ割れなどを起こす原因となります。また、電気カーペット単体でのご使用の際にも、床との間に市販の遮熱用保温シートを敷き、直接床面に熱がこもらないようにご配慮ください。

直射日光

- 窓際など直射日光が日常的に当たる場所では、日焼けによる変色の恐れがあります。
カーテンやブラインドなどで直射日光をできるだけ遮るようにしてください。

凹み・傷

- 本製品は上履き用です。土足では使用しないでください。
- 重量物（ピアノ等）を置く場合は、敷板等を脚部の下に敷き、重量を分散させてください。
- テーブルや椅子を引きずりますと、フロア表面を損傷する恐れがあります。足先にフェルトやゴムキャップ等を付けてフロア表面を保護してください。（ゴムキャップは種類によりフロアを汚染するものがありますのでご注意ください。）
- キャスター付きの椅子や家具類を直接使用すると、負荷の大きさや使用頻度にもよりますが、フロア表面の傷や破損の原因となることがあります。特に硬質樹脂製・金属製など硬い材質や球形のキャスターはフロア表面を傷つけやすいので使用しないでください。

汚れ・水漏れ

- キッチンシンク前、洗面前、浴室出口前のように常に水のかかる場所については、滑りやすくなり危険ですので必ず足拭きマットをご使用ください。
- フロアを長時間水に濡らしたまま放置するとシミ、シワ、腐蝕等の原因となりますので、速やかに拭き取ってください。
- 日常のお手入れは、乾拭きとし、水拭きはしないでください。汚れがひどい時には、固く絞って湿らせた雑巾で拭き取ってください。（抗菌・抗ウイルス性能のある製品についても皮脂・ホコリ等の汚れが付着した状態では十分な効果を発揮できませんので、適切なお手入れを行ってください。）
- 市販のスチーム洗浄機やスチームモップの使用は控えてください。
- クレヨン、マジック、油等でフロアを汚した場合は、家庭用ベンジン等で拭き取ってください。ワックス掛けしている場合は、ワックスも取れますので、再びワックス掛けしてください。

ワックス掛け不要

- 基本的にワックス掛けは不要です。ワックスを掛けるとフロア表面がワックス被膜となり、耐傷性や抗菌・抗ウイルス性能（抗菌・抗ウイルス製品のみ）など塗膜本来の性能が発揮できなくなります。
- 長期間のご使用により、小さな目立つ傷が気になりだした場合は、ワックスを使用し美観の回復をすることは可能です。ただし、一度ワックスを使用されるとワックスによる定期的なメンテナンスが必要になります。ワックス掛けを希望される場合は、株式会社「ハイテクフローリングコート」、低ツヤ塗装製品には同社「フローリング専用ワックスつやなし」をご使用ください。
- ワックス掛けはワックス製品の取扱説明書や使用上の注意に準じて実施してください。
(ワックスを直接床にまかないでください。膨れや突き上げなどを起こす原因となります。)
- 床暖房使用中はワックス掛けしないでください。塗りムラの原因となります。

虫・害

- 表面に小さな穴が開き、木の粉が伴っている場合ヒラタキクイムシの侵食と思われます。一般的にフロアは製造工程で高温高圧処理されるため、虫や卵は死滅しておりますので混入はありませんが、木質材の特性上、流通段階や施工後に外部から虫が飛来し、虫食いが発生する場合があります。万一発生した場合は、専用薬剤を注入・散布するなどの対応が必要ですので、専門の処理業者にご相談され早期対応をお勧め致します。

床鳴り

- 木は水分を吸収する性質があります。それに伴う伸縮によってサネ部から音を発生することがあります。天然木としてやむを得ない現象です。また施工など別の原因によって床鳴りする場合もあります。原因によっては音を緩和させることができますので、工務店等へご相談ください。

反り・突き上げ・目スギ

- 天然木を使用しておりますため、フロアの性質上、反り・突き上げ・目スギが多少発生する場合があります。湿度や温度の変化でフロアが伸縮するためです。エアコンや暖房機器などを連続運転する場合、加湿器などで湿度を調整してください。望ましい湿度は45~70%です。

施工業者様へ

●壁へ立て掛けず、水平面に保管してください。

●雨濡れや多湿環境での保管は避けてください。

●高比重素材を使用していますので持ち運び、取扱いにはご注意ください。

●さね部は破損しやすいため、落下や角当てには十分注意してください。

●吸湿による曲がりなどの発生を防ぐため、なるべく施工直前に開梱し、すぐに施工をしてください。

※高光沢鏡面塗装を施した製品については、

塗膜に微細な気泡痕が目立つ場合があります。

このことをご了承の上、施工してください。

施工後の返品、取替はできませんのでご注意ください。

施工業者様用

お施主様用の取り扱いマニュアルが記載してありますので必ずお施主様にお渡しください。

施工説明書

エコ配慮基材
合板捨貼り施工用
ワックス不要

高密度木質ボード(PB)フローリング

施工後の返品、取替は出来ませんのでご注意ください。
必ずご使用前に確認してください。

⚠ 注意

- 1 本製品は木質合板捨貼り下地専用です。根太への直接施工や、パーティクルボード等の合板以外の捨貼り下地への施工はできません。
- 2 下地の捨貼り材は12mm厚以上の合板あるいは24mm厚以上のネタレス構造用合板を使用してください。水濡れ、雨濡れは厳禁です。根太は45mm角以上の乾燥材を使用し303mmまたは150mmの間隔としてください。
- 3 床暖房パネルの施工は、床暖房パネルメーカーの施工説明書をよく読み、注意事項を守って使用してください。
- 4 床下の換気を十分に行えるように換気口を設けてください。床下が多湿な場合には、防湿フィルムの敷設、コンクリートの打設等の防湿処理を十分に行ってください。
若鈴材のコンクリートは大量の水分を蒸発しますのでJASS5(鉄筋コンクリート工事)に従って施工し、十分乾燥させてください。(コンクリート含水率10%以下、打設後4週間以上)コンクリートの水分は床材の反り、変形、変色、突き上げ、床鳴りなど不具合の原因となります。床下が多湿であったり、風通しが悪い場合には腐朽の原因となります。
- 5 本製品は合板に比べて水分の影響を受けやすく、水を放置すると膨れなど美観を損なう可能性があります。
- 6 ピアノ、大型冷蔵庫等の重量物を置く場所、ひんぱんに入出する箇所には、下地の補強を十分に行ってください。
- 7 本製品は一般内装用(上履き用)の床材です。重歩行(土足用)には使用できません。
- 8 本製品は床下収納庫や点検口のフタの構造によっては使用できないものがあります。
床下収納庫や点検口のフタに使用する場合は必ず十分な補強対策を行ってください。

施工業者様へのお願い

- この商品は、施工方法の一部に一般的の木質床材と異なる部分がございます。
この施工説明書をよくお読みの上、必ず指定どおりに施工を行ってください。
施工を正しく行わないと目スギ・反り等の不具合が発生する原因となります。
- 施工直前に開梱し、開梱後は梱包を開けた状態で放置せずすぐに施工してください。

床暖房仕様について

- 本製品は、床暖房の仕上げ材としてもご使用できます。

推奨床暖房パネル
小根太付温水マット(ガス会社推奨タイプ)

床暖の使用可否一覧	
床暖房の種類	使用可否
ガス会社指定	○
小根太付き温水マットタイプ	×
上記以外のフィルムタイプ・根太間設置タイプ	×
その他	×

- コンクリート直埋式ヒーター方式には使用できません。コンクリートの水分や成分がフロアの品質を阻害する場合があります。
- フロアとヒーターに隙間がある構造の根太間設置型ヒーター方式には使用できません。床のたわみや床鳴りの原因となります。

- 推奨床暖房パネル以外によるトラブル、不具合については保証しかねますのでご注意ください。

